



# あおいにし

夏休み号

令和5年7月21日

浜松市立葵西小学校

## 夏休みにしかできないことに挑戦を

### 【1学期終業式の話】

1学期、みんなの「やれば できる」は何だったのでしょうか。つまり、1学期「やってできるようになったこと」「努力して達成できたこと」はありますか。

校長先生は、皆さんが努力している場面、頑張っている場面をたくさん見つけることができました。

1年生はすっかり学校生活にも慣れましたね。給食も自分たちで準備できるようになりました。この1学期でできることがたくさん増えましたね。アサガオの水やりも頑張りました。きれいなアサガオが咲いたときはうれしかったね。

2年生は生活科で1年生が学校のことがよく分かるように、優しく丁寧に学校案内してくれました。「大きくなあれ わたしのやさい」では、自分の野菜を大切に大切に優しい心でお世話できましたね。

3年生は町探検やスーパーの見学に出かけて地域のことを知りました。自分の目で見て、実際に聞いて、学習を深めました。また、ようこそ1年生週間の出し物は、1年生が喜んでもらえるように工夫されていて、3年生の気持ちやパワーが伝わってきました。

4年生、総合の授業ではユニバーサルデザインについて講師の方のお話を真剣に聞いて学習を深めましたね。運動会の「よさこいファミリーにならまいか」は、最高の笑顔でみんなが輝いていました。

5年生も総合の時間に、講師の先生の話聞いて環境についての考えを深めましたね。サブリーダーとしても6年生をサポートしてくれました。また、回泳にチャレンジして練習を頑張っている姿もみました。本番で力を発揮できるといいですね。

6年生はまさに学校の顔としていろいろな場面で活躍してくれました。1年生を迎える会や運動会の成功はみなさんのおかげです。それぞれの委員会でも、地道に活動にとりくみ学校のために力を発揮してくれました。優しく1年生の面倒もみてくれています。本当に頼りになる6年生です。

みんなは「やればやるほど」「がんばればがんばるほど」「どりよくすればするほど」力がどんどんついてきています。本当によく頑張った1学期でしたね。

さて、いよいよ明日からは皆さんが楽しみにしている夏休みです。夏休みのような長い休みの時にしかできないことに挑戦して、自分をもっともっと成長させてほしいと願っています。

今はもうお亡くなりになっていますが、フランスのシモーヌ・ヴェイユという女性の学者さんの言葉を紹介します。「未来は現在と同じ材料できている」。どういう意味かわかりますか？

この言葉は、簡単に言うと「今やっていることがそのままつながって未来になる」という意味です。例えば、未来も健康でいたいなら、今も健康によいことをこつこつとすること。未来も素敵な友達と一緒に過ごしたいなら今の友だちを大切にすること。つまり、今無い物が未来に突然現れることはないということです。

校長先生の好きなスポーツの世界。今年の夏も、様々なスポーツの大きな大会が世界中で開かれます。

これらの大会では多くのトップアスリートが活躍しますが、この人たちも、ある日突然すごい技ができるようになったわけでも、急に足が速くなったわけでもありません。みんなこつこつと練習や努力を重ねて、その結果、夢の大舞台に立っているのです。

みなさんも同じです。ある日突然何かができるようになったり、急に信頼できる友達が何人もできたりすることはありませんよね。だから、明日からの夏休みの過ごし方が2学期に、そして未来につながっていくことをよく考えて、未来につながる一日一日を過ごしてください。「あなたがなりたい未来は、現在と同じ材料できいていきますよ。」

それでは、交通事故や水の事故、熱中症にも気をつけて、健康で安全な夏休みを過ごしてくださいね。そして、2学期始業式の8月31日には、元気で笑顔いっぱいの皆さんに会えることを楽しみにしています。